中村小弥太君 大槻均 君 作曲 作歌

人の世の凡ての何ぞはかなき。 草木すら時に悲歌を嘆ず、 永劫の時の流れの尽きざるに、

懐かしき友よ、

星永遠に流れては 高遠を誇る自治寮よ

逝きて帰らぬ春風を 春秋ここに二十六

これ先人が夢の跡かな 恨む今宵の若草の Ĺž

彼の寮を思ひ浮べて心静かにかのようなものかのことのとず 別離の歌」を奏でん。

手折りて結ぶ友垣が 原始の森に咲く枝を 原始の森に咲く枝を 移ろふ世習泣くは誰

そ

光る瞳は幸福星かなかがない。 燃ゆる生命のかがり火に

ゅいのち

強く正しく友よ生きなむっぱ、ただしく友よ生きなむ

吾に友あり、明日の宿居はあり、 降る苦難をともにせん の宿居は知らねども 吾れつよ

今宵限りのこの宴かな 誓ふ心の酒杯に 尽きぬ名残の 涙するっ なごり なんだ